

災害防止研究所 #6会議 (20181218 1600~1730) 議事録

○ 参加者 (12名)

吉田明生 名取禎 佐藤慶太 佐々木宏 里雅之 宮岡隆 山田裕介 江口亮
尾又ゆかり 杉山さとし 渡邊宏

山口剛

○ 議 事

1 議題等 (吉田)

(1) 第5回会議以降の動き等

※ 情報提供 (吉田)

日本郵政とローソンとの災害協定締結について
封筒・ハンコの回覧

ア ワールドフォトプレス社 (吉田)

土居さん (調整相手) の意向: 前向きに検討、社内で持ち上げる

イ 阪急阪神百貨店 (里)

- (ア) 日程: 8/31 設営・VIP説明、9/1 実施
- (イ) 必要経費: 次回までに予算書を作成予定
- (ウ) 阪急側の要望: 物販できる物を持ってきてほしい
- (エ) 質問・意見
(吉田) タイムスケジュール作成の必要あり

(2) 議 題

ア ホームページ最終案 (山口)

- (ア) 資料に基づく説明
- (イ) 今後の進行
 - a お知らせ: 原稿を提供してもらえれば打ち込みを行う
 - b 公開の目途: 年内
 - c 修整: 要求により一月末まで
- (ウ) 関連事項
 - a メール運用準備の説明: 各人のパスワードの変更 (設定) →メールの設定→不明点は山口さんまでメールにて問い合わせを

b HP公開までのWeb上の見方の説明

(I) 質問・意見

- (佐藤) HPのアップデートはどうか
- (山口) マニュアルを作成し、以降は防災研の要員で行ってもら
- (里) メールはいつから使用可能か
- (山口) 設定すれば使用可能
- (吉田) HPについて意見があれば提供してほしい

イ 阪急阪神百貨店イベント：(1)で説明済

エ 事業計画等の概要(吉田)

(ア) 資料に基づく説明

- a 認証制度は要員を集めて推進する。
- b HPは専属要員を配置したい。
- c 季刊誌は準備期間を1年として発刊したい。
- d 事業の担任区分を作成したが人数不足なので適任者がいれば推薦を
- e 社員(=正会員)の会費は会費規定による。
- f 認証制度の作成にはスケジュール表が必要である。研修制度の作成には時間がかかることが予想される。予定が決まった時点でそれに合致させる必要がある。

(イ) 質問・意見

- (吉田) 研修受講料は1人幾ら位か
- (杉山) カヌーでは1万円/日、5~6千円/半日
- (佐々木) 防災士は4.9万円とある。
- (宮岡) 企業の認証は、%を一様にではなく従業員の規模により二段階にする方法もある。例えば、一定以上の規模は一定の人数、小規模はパーセンテージという方法も。
- (吉田) 認証については、企業を認証しても企業側にメリットが無いので個人の認証だけに変更している。
- (宮岡) 認証のための研修への参加はどこでどのように募るのか。
- (吉田) 防災士と被らない部分で、企業の人材育成の一環として受け入れられるようにしていきたい。
- (吉田) どのようにしたら企業が乗りやすいのかの意見を募りたい。
- (里) 社員が資格(級)を取得したら給与に反映し、会社が認証を受けたら税金の低減や補助金が得られるのが理想だが。
- (吉田) ISOの例がある。
- (宮岡) どのように関連企業を増加させるかが問題だ。イベント・実務的事业、キャンペーンを先行させ、その後に考え方の普及が良いのではと考える。
- (佐藤) キャンペーンを通じて企業の認証を宣伝し普及する考え方がある。

(名取) 先ずはキャンペーンに参加をする企業を増やすべき。

(吉田) 意見を聴取し検討したい。

ウ 強くなろうニッポン！キャンペーン (佐藤)

(7) 説明

検討中に多くの問題点が出てきたので、考え方をまとめるために意見をもらいたい。問題点と考えている物は以下のとおり

- a キャンペーンとして6つのテーマをあげたが課題がある。キャンペーンは、基本的に1つに1社を考えていたが食料やサバイバルのようなテーマによっては複数社が必要ではないか。衣料はローリングストックの対象となるか。災害時に車上を拠点とした避難もあるので車両関係も対象では。
- b 何をローリングストックとするのかを具体化する必要がある。
テーマによってはアイデアが出てこないものもあるので意見を聴取したい。

(イ) 質問・意見

(佐々木) 何が必ず必要か。災害状況と時程に沿って考えていけば良い。

(杉山) 「自助、公助、共助」、「72時間」がキーワードでは。

(佐々木) 「生命を守る」、「情報」、「備え」も重要だ。

(宮岡) ローリングストックを出だしとして、ストーリー作りが必要では。

(名取) 具体的に必要な物を挙げていけば。

(吉田) 佐藤さんが協賛を考えている企業を当てはめることを中心に考えていくことも必要

(吉田) この件で30日1000～佐藤さんの会社で会合を開きたい。参加できない人もメールでアイデアを提供してほしい。

オ その他

各人への名刺の配布

2 次回の会合

2019年1月18日(金)16時～ 於：ウッドオフィス5F会議室

会合終了後に新年会を予定

以上